令和2年6月定例会　議案等に対する賛否について

※表中の見方:「○」＝賛成 「×」＝反対 「―」＝退席
※議長は表決に加わらないため、「／」としています。

【市長提出議案①】

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（18人）																		公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）	不羈（1人）	卯月（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	（議長）舎川智也	押田大祐	江西照康	高田真里	高道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	柞山数男	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久	五本幸正	高見隆夫
議案第91号	令和2年度富山市一般会計補正予算（第2号）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	（反対討論要旨／自民クラブ　村上議員） 委員会視察は、採決に直結する事案を調査研究するものであり、いわゆる不急に当てはまることがあっても、不要のものではない。 議会費を減額することが“善”で、これに反対する者は“悪”であるかのような評価を恐れて、委員会視察を実施しないとするなら、それは議員が自らその存在意義を低下させるもので、市民の負託に積極的に応えんとする姿勢とは相反する。 委員会視察は“公務”であり、実施しないとすることは、議員の職責を著しく損なわせ、職務遂行の機会を奪うものであり、許容できない。 委員会視察を行わないことを現時点において判断し、議会費を減額する本件は、まったく時期尚早であるばかりか、富山市議会並びに議員の責務及び存在意義までも自ら否定しかねない、極めて危ういものであることを指摘し、反対する。																																								
議案第92号	令和2年度富山市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号	令和2年度富山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号	令和2年度富山市企業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号	令和2年度富山市病院事業会計補正予算（第1号）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	富山市市税条例等の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	富山市介護保険条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	富山市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第99号	富山市児童館条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号	富山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	富山市手数料条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	富山市四方チャレンジ・ミニ企業団地条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	富山市薬業振興事業基金条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号	富山市牛岳温泉健康センター条例等の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号	富山市岩稲ふれあいセンター条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	富山市八尾ゆめの森交流施設条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	富山市割山森林公園条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号	富山市富山港線路面電車事業助成基金条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号	富山市都市公園条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号	富山市営住宅条例等の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【市長提出議案②】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（18人）																		公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）	不羈（1人）	卯月（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也（議長）	押田大祐	江西照康	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	髙田重信	村家博	有澤守	柞山数男	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久	五本幸正	髙見隆夫
議案第111号	富山市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第112号	工事請負契約締結の件（奥田小学校校舎解体工事）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第113号	工事請負契約締結の件（大久保小学校耐震補強工事）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第114号	工事請負契約締結の件（第2期呉羽南部企業団地（Eブロック）消雪機械設備設置工事）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第115号	工事請負契約締結の件（八田橋架替（旧橋脚撤去）工事）	6/23	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第116号	工事請負契約締結の件（水橋東部1号橋架替工事）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第117号	工事請負変更契約締結の件（呉羽保育所移転改築主体工事）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第118号	特定事業変更契約締結の件（公営住宅月岡団地第3期街区建替事業）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第119号	財産取得の件（救助工作車Ⅲ型　1台）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第120号	令和2年度富山市一般会計補正予算（第3号）	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【議員提出議案①】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（18人）																		公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）	不羈（1人）	卯月（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也（議長）	押田大祐	江西照康	高田真里	高道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	柞山数男	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久	五本幸正	高見隆夫
議員提出議案第10号	令和2年12月の富山市議会議員の期末手当の特例に関する条例制定の件	6/11	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
（議員提出議案第11号と2件一括して討論）	（反対討論要旨／創政改拓　木下議員） 私は政務活動費は削減せずに使用していく、さらに言えば、いざという時に使用できる状態を保つべきだと考える。 全国的に緊急事態宣言が解除され、経済活動は徐々に再開し、私たち議員の活動、政務活動も感染に注意しながら元に戻していく流れにあると考える。 「市政の調査・研究のために用いられるお金」である政務活動費を、令和2年度が始まって3か月も経たないうちに、半分に減額することは判断が早すぎるのではないでしょうか。 今後、コロナ対策についての調査研究を深めるために、政務活動費を大いに活用できる、またはしなければならない場面も現れるかもしれません。 もし議員が自分たちに与えられるお金の内、何かを削減して、コロナ対策などへある程度の金額を捻出して、役立てようとするならば、それは私たち議員が仕事をする上での大切な調査研究のための費用である政務活動費ではなく、議員報酬や年に2回、6月と12月に支給される期末手当から先に、削減すべきだと私は考える。 また、議員提出議案第10号で示されている12月の期末手当を1割削減することには、1割という削減幅に共感しかねるため、賛成出来ません。 2つの議案について年代も職業も様々な私の友人、知人にも意見やコロナ危機の影響などを聞きました。とても厳しい状況がそれぞれにありました。 コロナ危機は、命と経済的な死の2つが私たちの鼻先にまで迫ってきた、世界規模の人類の危機、究極の国難の一つです。我々議員が時には自分の身を切りながらも、どれほどの覚悟と気迫をもってこの困難の解決に立ち向かおうとしているのか、また市民の苦しみをどれだけ理解しようと努めているのかということが問われているのだと思う。																																							
（議員提出議案第11号と2件一括して討論）	（賛成討論要旨／日本共産党　小西議員） 新型コロナウイルス感染症の「第2波」に備え、積極的なPCR検査体制の構築、医療や介護、障害者福祉関連へ財政支援等が求められる。 「新しい生活様式」の呼びかけは「新しい自粛要請」だ。中小企業、個人事業主、労働者、フリーランス等の休業補償、農林漁業者、子どもと教育、学生、生活困窮者への支援等を国・県の施策と合わせ、市独自の支援も必要だ。 市議会議員の12月期末手当1割削減は、コロナ禍で苦しんでいる市民に対する市の施策の財源の一部となり、期日的に間に合わなかった6月支給の削減分としての提案で、12月支給分は、1割を下回らない減額を改めて協議することを、提案した各会派で約束している。 政務活動費の5割削減について、政務活動費は本来、議員の調査・研究や研修、市議会の活動を市民に知らせ、意見を聞く広報・広聴活動などに使用するお金であり、コロナ禍による市民の苦しみに市政が答えるべき今こそ、有効に活用すべきだ。 また昨年度の全会派の使用実績は予算額に対し40．92%だ。今年度も同様の使用率ならば来年には50%以上が市に返納され、市の財源となり請求額を5割削減では、結果的に財政的効果は変わらないが、①議会が一丸となり、市民の苦難に少しでも答える役割を果たしていく、②使用目的をコロナ感染症対策財源に早く振り替えることになることから、光会派と日本共産党が各派代表者会議に提案した期末手当の削減とセット案として、ほとんどの会派が賛同されることを歓迎する。 お互いに納得いかない部分もあるが、意見の違いを乗り越え、市民に議会の姿勢を示し、コロナ禍を乗り越えて行こうではありませんか。以上のことから賛成する。																																							
（議員提出議案第11号と2件一括して討論）	（賛成討論要旨／公明党　松尾議員） 富山市議会公明党は期末手当の減額、政務活動費の減額に関する、いずれの条例案についても、新型コロナウイルス感染拡大防止策の財源を、少しでも確保するため、市議会の全会一致を目指すべきと考え、この条例案を提出するものである。 また一方で、我が会派は、コロナ禍においても、市政発展と市民福祉向上のための政務活動は、さらに積極的に行うべきとも考えております。しかしながら、このような状況下においては、その費用に対して、全額を政務活動費で充当するべきではないとの考えでもある。 さらに言えば、住民の代弁者たる議員の総意として、再三にわたって辞職勧告決議が採択されたにも関わらず、未だ辞職しない者が、これらの条例案に反対討論することについては、「市民のだれもが、断じて許さない」と我が会派は考えていることを申し添えて、賛成する。																																							

【議員提出議案②】

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（18人）																		公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）	不羈（1人）	卯月（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	（議長）舎川智也	押田大祐	江西照康	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	髙田重信	村家博	有澤守	柞山数男	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久	五本幸正	高見隆夫
議員提出議案第11号	富山市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定の件	6/11	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
	（反対討論要旨／創政改拓　木下議員） ※議員提出議案第10号の討論概要に掲載																																							
	（賛成討論要旨／日本共産党　小西議員） ※議員提出議案第10号の討論概要に掲載																																							
	（反対討論要旨／自民クラブ　村上議員） 十分な視察研修や資料の購入に支出しても、我が自民クラブは固定費の比率が少なく、交付額の約半分にあたる81万5千円あまりの不用額を返納している。また、大会派においては、会派職員を雇用しても、やはり固定費の割合は少ない。一方、職員を雇用する第2会派以下は事情が異なる。会派職員の給与額については納得できない例もあるが、適切な給与レベルで運用されている会派の調査研究活動に支障が生じる減額は行うべきではない。 不用額の返納が4月末日までであることから、迅速性に欠けるとの理由については、財政の逼迫状況と議会活動の重要性の比較において意義を持つものであり、現状では納得できない。 すべての会派、すべての議員が存分に調査研究し、議会の責務を全うできることを保証するため、議員提出議案第11号に反対する。																																								
	（賛成討論要旨／公明党　松尾議員） ※議員提出議案第10号の討論概要に掲載																																							
議員提出議案第12号	木下章広君に対する議員辞職勧告決議	6/11	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○
議員提出議案第13号	家族介護者支援のさらなる充実を求める意見書	6/24	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第14号	公共交通への支援の強化を求める意見書	6/24	否決	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×
議員提出議案第15号	新型コロナウイルス感染症の影響による医療機関・介護事業所における事業収入を補填し、安全・安心の医療・介護を存続していくために新たな公的資金の導入を求める意見書	6/24	否決	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×

【請願】

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（18人）																		公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）	不羈（1人）	卯月（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	（議長）舎川智也	押田大祐	江西照康	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	髙田重信	村家博	有澤守	柞山数男	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久	五本幸正	髙見隆夫
令和2年分請願第1号	国に対し消費税率5%以下への引き下げを求める意見書の提出を求める請願	6/24	不採択	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×
	（賛成討論要旨／日本共産党　小西議員） 1月～3月の国内総生産は実質で前期比0．9%減で、2期連続、年率換算で3．4%のマイナスだ。 4月～6月期は消費税増税と新型コロナ感染拡大の影響で多くの産業の停滞、雇用や購買力、輸出入が大幅な落ち込みは明らかだ。 ドイツは消費税に当たる付加価値税を3%、食品等の軽減税率は7%を5%に引き下げる。 コロナ対策の補正予算、約33兆円が成立した。 財源は消費税でなく、所得が1億円超えれば負担率が下がる所得税、大企業の実質法人税を中小企業並みの20%等の優遇税制を「能力に応じた負担」への税制改革、トランプ大統領のいいなりの米国製兵器爆買い、辺野古基地建設等の軍事費や不要・不急の大型開発の見直し、無駄の削減で確保は可能だ。 国民の購買力を高め、景気策になる消費税を5%以下に引き下げることを求めるの請願に賛成する。																																							
令和2年分請願第2号	委員会中継のネット配信を求める請願	6/24	継続審査※	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○
	（継続審査に反対討論要旨／自民クラブ　村上議員） 4つの委員会の同時開催や感染症対策等により、議員が傍聴を許されない事態は、賛否決定に重大な支障をきたしている。これを回避するため、視聴システムは必要不可欠のものであり、費用対効果の考察や検証を待つ必要は無く、継続審査の理由にならない。 請願は議員が視聴できるシステムを構築することで、副次的に叶う。 また、市職員も傍聴できることで、自分の仕事が議員から、すなわち市民からどう評価され、何が問題とされ、何が求められているのかを知ることができ、意欲と意識を高め、市民サービスの向上に、必ずや貢献すると期待できることからも、委員会のネット配信は積極的に行うべきである。 本来、議会内でコンセンサスが得られてしかるべきことを請願という形でご教示いただいた請願人に感謝申し上げ、継続審査とすることに反対する。																																							
	（継続審査に反対討論要旨／日本共産党　赤星議員） 新型コロナウイルス対策の5月臨時会は主に中継のない4つの分科会と常任委員会で議案審査だったため市民から「市議会は何をやっているのかさっぱりわからん」とお叱りを受けた。 本会議の中継は相次ぐ政務活動費の不正発覚と補欠選挙後、全国中核市で最も遅い導入だった。委員会中継は17～18年に日本共産党、光、維新、社民党が提案したが、18年7月の議会改革検討調査会で「時期尚早」とされた。 コロナで情勢は大きく変わり、緊急事態に市民の命とくらしを守るため議会はちゃんと市民の声を届けているか、オンラインでいつでも観られるのが当たり前になるべきだ。 上越市議会や一昨年視察に行った下関市議会でもYouTubeで配信していた。大きな改修や経費を伴わない方法は可能だ。 時事刻々変わる情勢のもと迅速に対応し委員会中継実施に取り掛かるべき。																																							

【会議規則に伴う案件】※

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（18人）																	公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）	不羈（1人）	卯月（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	（議長）舎川智也	押田大祐	江西照康	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	髙田重信	村家博	有澤守	柞山数男	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久	五本幸正	髙見隆夫
令和2年分請願第2号撤回の件		6/24	不許可	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×

※議案、請願・陳情以外で、会議規則に定められている承認等の案件については通常掲載しておりませんが、今回は請願者にも関わりがある案件のため掲載しています。

※表中の討論要旨については、各議員が発言内容を1案件あたり350字程度にまとめたものを掲載しています。（討論の掲載順は実際の発言順としています。）

※各発言の全文については、「富山市議会インターネット中継」の6月11日及び6月24日開催の本会議分、または、「令和2年6月富山市議会定例会会議録」（令和2年8月下旬発行予定）にて、ご確認ください。

※令和2年請願第2号については、継続審査に対する議員個々の賛否を掲載しています。